

研 究 報 告 第 4 1 1 号

平 成 2 5 年 度

全 国 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査 分 析 結 果 報 告 書

平 成 2 6 年 3 月

千 葉 県 総 合 教 育 セ ン タ ー

序

平成25年度の全国学力・学習状況調査は、4月24日に実施された。震災のため中断された平成23年度を除き、今年度で6回目を終えた。

本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るとともに、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で、平成19年度から3年間は悉皆調査で、平成22年度からは抽出調査で、小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒を対象に実施されてきた。

今年度は平成21年度以来4年ぶりに悉皆調査で実施された。国語及び算数・数学の教科に関する調査と、学習意欲や学習環境等に関する児童生徒質問紙調査と学校における指導方法の状況等に関する学校質問紙調査のほかに、「きめ細かい調査」の追加調査として、経年変化分析調査（抽出調査）、保護者に対する調査（抽出調査）及び教育委員会に対する調査も行なわれた。

今年度の千葉県の調査結果については、その概況が平成25年8月に千葉県教育委員会（教育振興部指導課）から発表された。「本県の公立学校の結果は、教科に関する調査について、平均正答率は概ね全国平均と同程度である。また、児童生徒の正答数の分布も全国の状況とほぼ同様である。」とされている。また、「活用」に比べ「知識」に関する問題の結果のほうが、全国平均比でやや低いという状況も含め、これらはここ数年の結果と同様の傾向であった。

質問紙調査からは、「国語への関心等」は児童生徒とも全国と比べて高い傾向にあるが、児童の「算数への関心」や、児童生徒の学習習慣に課題がみられる。また校内研修の実施状況は全国に比べかなり高い状況にあるが、宿題を出している学校の割合や家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図っている学校の割合が昨年度に引き続き全国と比べて低いなどの課題も明らかになった。

県教育委員会では、これまで本調査から千葉県の現状と課題を明確にし、各学校での指導改善を目指す視点に立った「全国学力・学習状況調査分析結果報告書」を作成してきた。今年度も同様の趣旨で調査結果について詳細な分析を行い、その結果を本報告書にまとめた。市町村の教育委員会及び学校においては、児童生徒の学力や学習状況について把握し、さらなる分析を行うなどして学力向上に役立てていただきたい。また、本報告書に掲載した県教育委員会・国立教育政策研究所作成の授業改善のための資料等も参考としていただきたい。

平成26年度全国学力・学習状況調査も、国語、算数・数学及び質問紙調査を対象学年の全児童生徒で実施する予定となっている。

本報告書が県内各小中学校において広く活用され、日々の指導の充実に役立てられることを期待している。

平成26年3月

千葉県総合教育センター所長 山田 龍雄

目 次

序

I	調査の実施状況	1
1	調査実施日	
2	調査対象	
3	千葉県の状況	
4	調査内容	
5	調査目的	
6	その他	
II	結果の概要	5
1	教科区分別調査結果	6
2	調査結果にみる本県の状況	6
3	本県の平均正答率の推移	7
4	教科に関する調査結果	9
	①国語	
	②算数・数学	
	③小学校から中学校にかけての変化	
5	質問紙に関する調査結果	12
	①児童生徒質問紙調査	
	②学校質問紙調査	
III	結果の詳細	17
1	教科に関する調査	18
	①小学校国語	
	②中学校国語	
	③小学校算数	
	④中学校数学	
2	質問紙調査	57
	①児童生徒質問紙調査	
	②学校質問紙調査	
IV	まとめ（今後の対応）	85
1	今回の調査結果にみられる課題と対応策	
2	本県における学力向上へ向けた課題	
3	県教育委員会の取組	
4	文部科学省の取組	
V	資料	91

I 調査の実施状況

1 調査実施日 平成25年4月24日（水）

2 調査対象

（1）国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査：小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査：中学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年

（2）特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち，調査の対象となる教科について，以下に該当する児童生徒は，調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 千葉県の状況

公立小学校 828 校の約 5 万 4 千人・公立中学校 390 校の約 4 万 9 千人，合計 1,218 校の約 10 万 3 千人（特別支援学校を含む）の児童生徒が調査に参加

4 調査内容

（1）児童生徒に対する調査

ア 教科（国語，算数・数学）に関する調査

（ア）小学校調査は，国語・算数とし，中学校調査は，国語・数学とする。

○国語A，算数A・数学A：主として「知識」に関する問題（「A」問題）

○国語B，算数B・数学B：主として「活用」に関する問題（「B」問題）

（イ）出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，以下のとおりとする。

①主として「知識」に関する問題（「A」問題）は，身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題

②主として「活用」に関する問題（「B」問題）は，知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題

（ウ）出題形式については，記述式の問題を一定割合で導入

イ 質問紙調査（児童生徒質問紙調査）

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

（2）学校に対する質問紙調査（学校質問紙調査）

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施

5 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図るとともに，そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また，学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

6 その他

＜主な変更点＞

- 本体調査（従来実施している一斉調査）が全数調査となることに伴う修正
調査結果の取扱い等は、前回全数調査であった平成21年度と同様
児童生徒質問紙には、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの3種類があり、学校ごとに異なる質問紙を実施
- 本体調査の他、追加調査として「経年変化分析調査」「保護者に対する調査」「教育委員会に対する調査」を実施

＜調査結果の取扱い＞（文部科学省提供資料より抜粋）

（1）調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれについて、以下の事項等を示す。

- ア 教科に関する調査の結果について、国語、算数・数学のそれぞれ、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題に分けた四つの区分ごとの平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等
- イ 都道府県・市町村・学校・児童生徒の学力に関する分布の形状等がわかるグラフ
- ウ 各教科の設問ごとの正答率等
- エ 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果について
 - （ア）児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答状況
 - （イ）児童生徒質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析
 - （ウ）学校質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析
- オ その他、本調査の目的の達成に資する分析

（2）調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。その際、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮する。

＜留意事項＞

○教育課程上の位置付け

調査の教育課程上の位置付けについては、教育委員会及び学校の判断により、以下のとおり取り扱うことを可能とする。

- ア 教科に関する調査については、当該教科の授業時数の一部（小学校調査 国語及び算数：それぞれ1.5単位時間相当、中学校調査 国語及び数学：それぞれ2単位時間相当）として取り扱うことを可能とする。
- イ 児童生徒質問紙調査については、特別活動（学級活動）の一部として取り扱うことを可能とする。

（参考）時間割

小学校

1 時間目	2 時間目	3 時間目	
国語 A, 算数 A (各 20 分)	国語 B (40 分)	算数 B (40 分)	児童 質問紙 (20 分程度)

中学校

1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 時間目	
国語 A (45 分)	国語 B (45 分)	数学 A (45 分)	数学 B (45 分)	生徒 質問紙 (20 分程度)

Ⅱ 結果の概要

* 本冊子における千葉県・全国の平均正答率及び平均正答数は、公立学校に在籍する児童生徒のものである。

1 教科区分別調査結果

* 上段の数値は平均正答率（％），下段の（ ）の数値は平均正答数である。

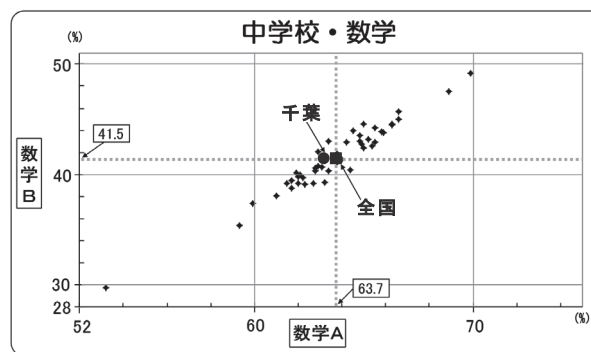
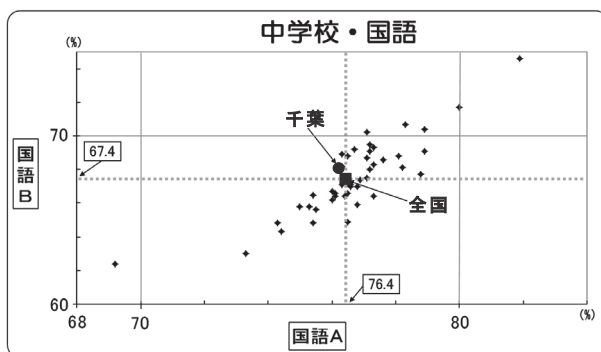
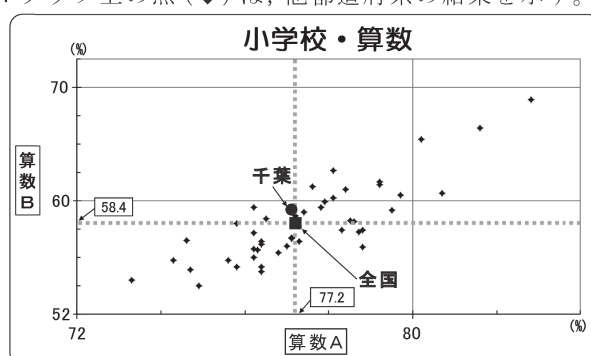
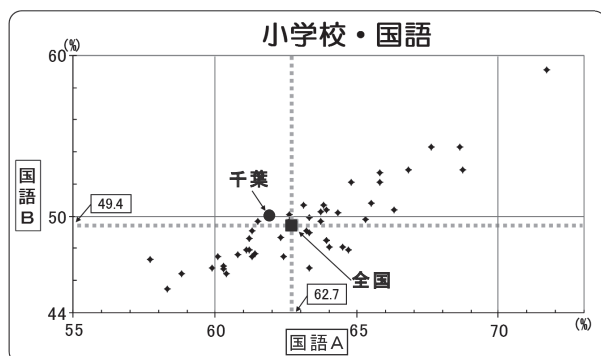
小学校	千葉県	全国
国語 A (全 18 問)	61.9 (11.1)	62.7 (11.3)
国語 B (全 10 問)	50.1 (5.0)	49.4 (4.9)
算数 A (全 19 問)	77.1 (14.7)	77.2 (14.7)
算数 B (全 13 問)	59.4 (7.7)	58.4 (7.6)

中学校	千葉県	全国
国語 A (全 32 問)	76.2 (24.4)	76.4 (24.4)
国語 B (全 9 問)	68.1 (6.1)	67.4 (6.1)
数学 A (全 36 問)	63.2 (22.7)	63.7 (22.9)
数学 B (全 16 問)	41.5 (6.6)	41.5 (6.6)

教科に関する調査結果について、本県の平均正答率及び平均正答数は概ね全国と同程度である。また、児童生徒の正答数の分布も全国の状況とほぼ同程度である。なお、正答数の分布に関しては、各教科の「全体的な結果」において詳述する。

2 調査結果にみる本県の状況（各都道府県の教科区分別の平均正答率の分布）

* グラフ上の点（◆）は、他都道府県の結果を示す。



上のグラフは、教科に関する調査結果について、主として「知識」に関する問題（「A」問題）の正答率を横軸に、主として「活用」に関する問題（「B」問題）の正答率を縦軸にとり、全国と各都道府県のそれぞれの平均正答率をプロットしたものである。本県は、概ね全国と同程度と読み取れるが、「A」問題に比べて「B」問題の正答率が高いことがうかがえる。

3 本県の平均正答率の推移

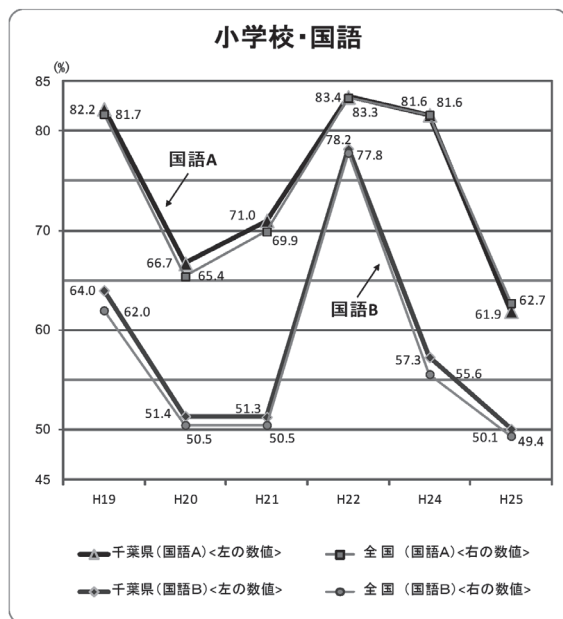
※平成 19 年度から 25 年度の全国学力・学習状況調査の調査区分別調査における小・中学校別の
本県と全国の平均正答率の推移及び全国の平均正答率を基準とした本県の平均正答率との差
の推移を示したものである。

※平成 22 年度、24 年度は抽出調査のため、平均正答率については誤差も含めた数値の幅「平均
正答率の 95%信頼区間」の中央値で示している。

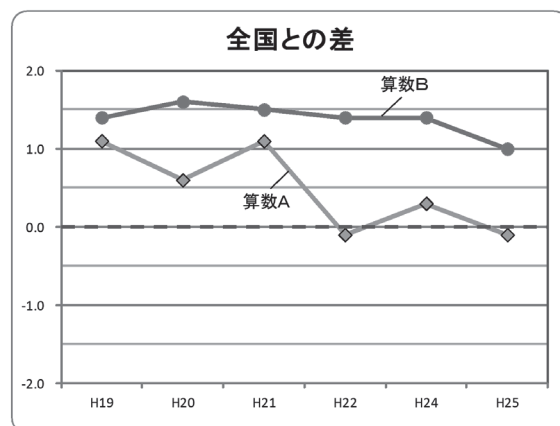
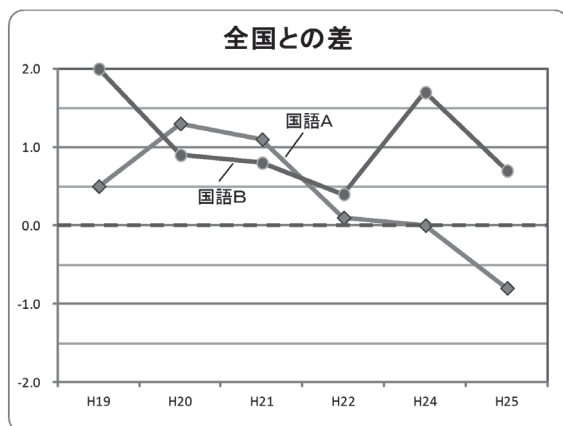
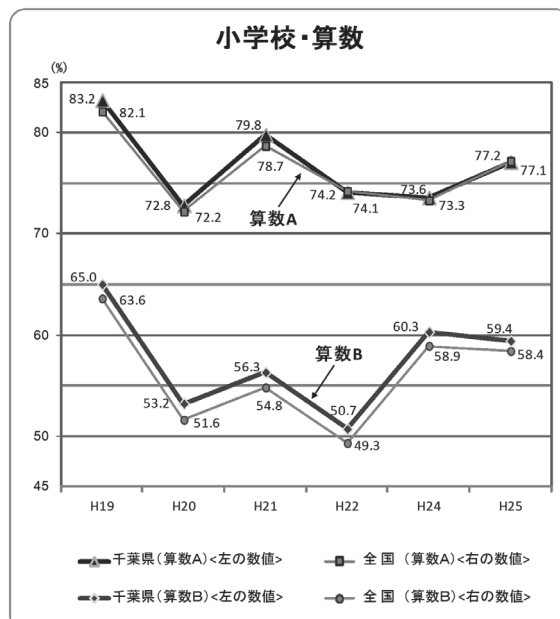
※平成 23 年度は、東日本大震災の影響等を考慮し、実施が見送られた。

<小学校>

【国語】

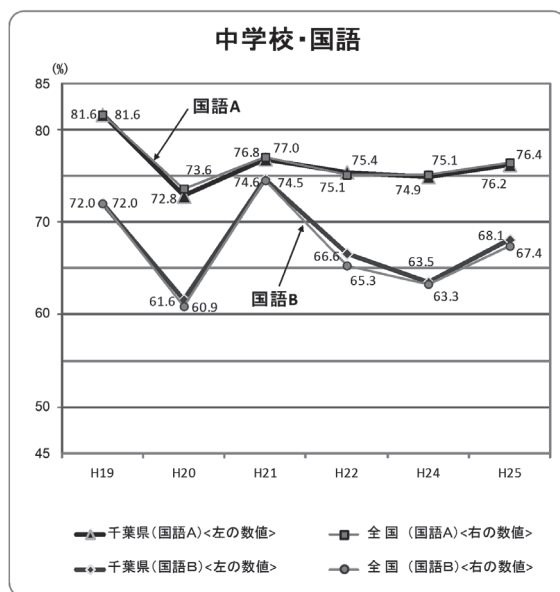


【算数】

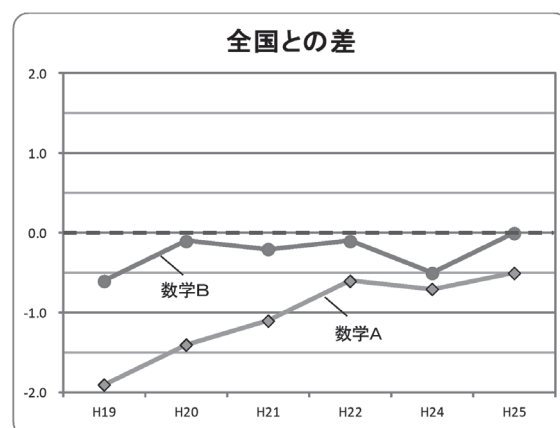
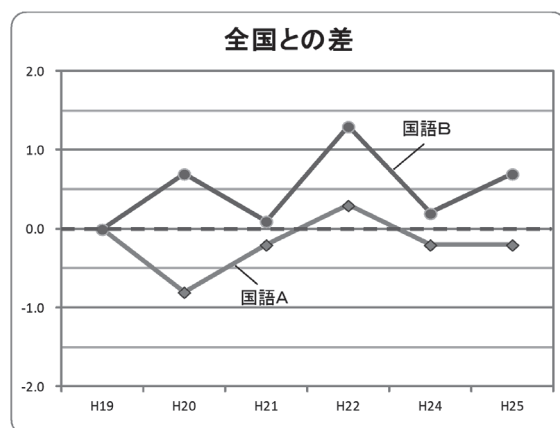
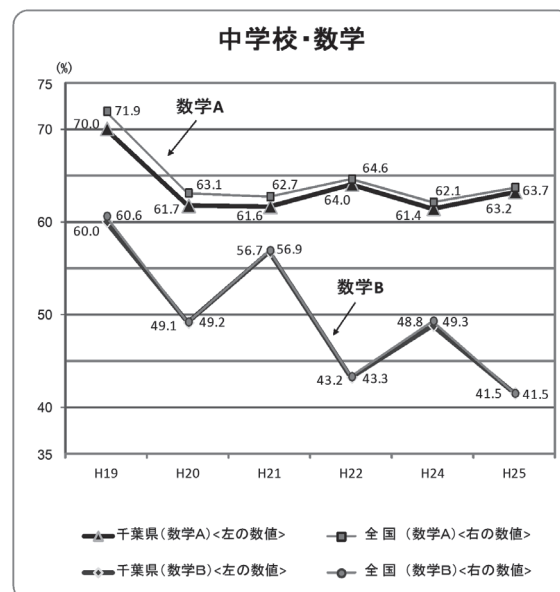


本県の平均正答率を全国との差で見ると、全般的に全国を上回っているものの、ほぼ同程度である。また、教科区分別に見ると、本県の「B」問題の正答率は、全ての調査年度において全国よりも高いが、今回の調査において、国語Aの正答率が調査開始年度以降、初めて全国を下回った。

<中学校>
【国語】



【数学】



本県の平均正答率を全国との差で見ると、調査開始年度以降、全国を下回っていた数学に関しては全国に近づきつつあり、上昇傾向にある。また、教科区分別に見ると、本県の国語Bの正答率に関しては、調査開始年度以降、全国よりも高い状況にある。

4 教科に関する調査結果

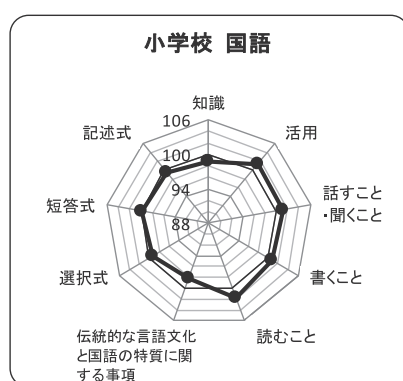
① 国語

【小学校】

全体的に、全国平均と同程度である。全国と比べて「知識」が低く、「活用」が高い。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕が低く、「漢字」、「ことわざ」の学習に力を入れる必要がある。

平均正答率（％）

小学校	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差
国語 A	61.9	62.7	－0.8
国語 B	50.1	49.4	0.7



知識／活用		領域等		問題形式	
知識	98.7	話すこと 聞くこと	101.1	選択式	99.2
活用	101.4	書くこと	100.8	短答式	99.8
		読むこと	101.8	記述式	99.5
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	98.3		

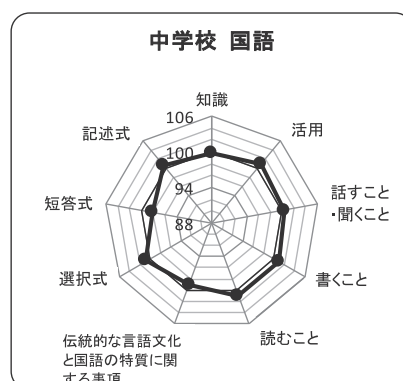
※全国（公立）を 100 として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

【中学校】

全体的に、全国平均と同程度である。全国と比べて「知識」が低く、「活用」が高い。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕が低く、「漢字」、「語句」、「敬語」の学習に力を入れる必要がある。

平均正答率（％）

中学校	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差
国語 A	76.2	76.4	－0.2
国語 B	68.1	67.4	0.7



知識／活用		領域等		問題形式	
知識	99.7	話すこと 聞くこと	100.5	選択式	100.7
活用	101.0	書くこと	101.1	短答式	98.1
		読むこと	101.1	記述式	100.5
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	99.0		

※全国（公立）を 100 として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

4 教科に関する調査結果

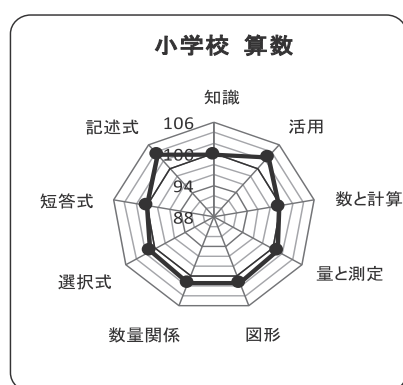
② 算数・数学

【小学校】

全体的に、全国平均と同程度である。全国と比べて「知識」が低く、「活用」が高い。「数と計算」の領域が低く、「小数や分数の四則計算」の学習に力を入れる必要がある。

平均正答率（％）

小学校	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差
算数 A	77.1	77.2	－0.1
算数 B	59.4	58.4	1.0



知識／活用		領域		問題形式	
知識	99.5	数と計算	99.4	選択式	101.4
活用	101.7	量と測定	101.3	短答式	100.1
		図形	100.5	記述式	100.5
		数量関係	102.1		

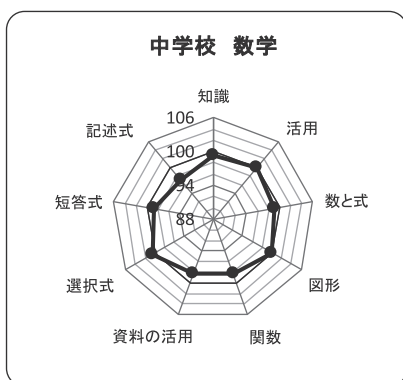
※全国（公立）を 100 として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

【中学校】

全体的に、全国平均と同程度である。全国と比べて「記述式」「資料の活用」が低く、「事象を数理的に考察し、表現する」ような学習に力を入れる必要がある。

平均正答率（％）

中学校	千葉県（公立）	全国（公立）	全国との差
数学 A	63.2	63.7	－0.5
数学 B	41.5	41.5	0.0



知識／活用		領域		問題形式	
知識	99.2	数と式	99.0	選択式	100.5
活用	100.0	関数	98.4	短答式	98.7
		資料の活用	98.4	記述式	97.0

※全国（公立）を 100 として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

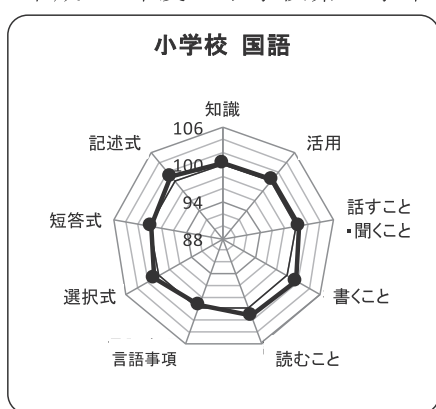
③ 小学校から中学校へかけての変化

＜平成 22 年度の小学校第 6 学年と平成 25 年度中学校第 3 学年との比較＞

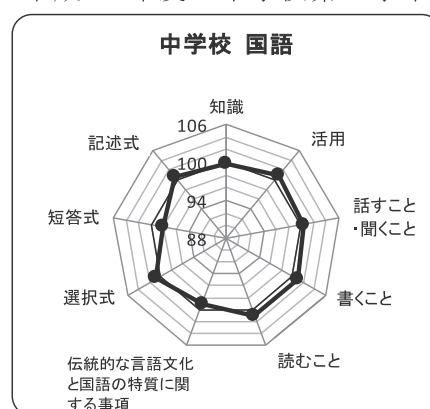
今回実施した全国学力・学習状況調査の中学校の結果を平成 22 年度に実施した全国学力・学習状況調査の小学校と比較して、当時の児童が中学校第 3 学年になったとき、平均正答率にどのような変化がみられたかをレーダーチャートで示した。レーダーチャートは全国平均（公立）を 100 として千葉県の子生徒の結果を相対的に表したものである。なお、平成 22 年度の調査は抽出調査で、平成 25 年度は悉皆調査である。

【国語】

平成 22 年度 小学校第 6 学年



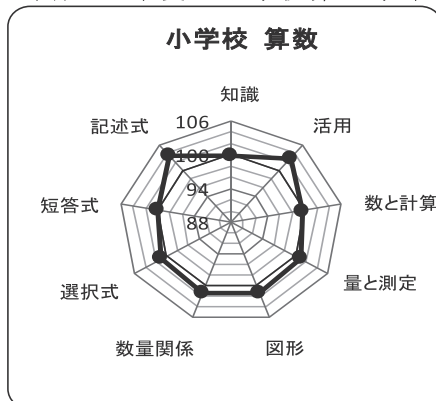
平成 25 年度 中学校第 3 学年



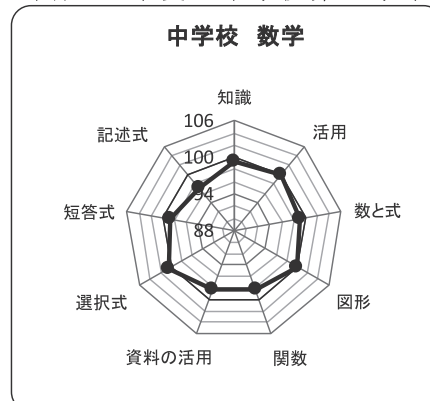
大きな変化はみられないが、「活用」が上昇し、「言語事項／伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」と「短答式」が低下したことがわかる。

【算数・数学】

平成 22 年度 小学校第 6 学年



平成 25 年度 中学校第 3 学年



全体的に低下している。特に「活用」と「記述式」が大幅に低下したことがわかる。

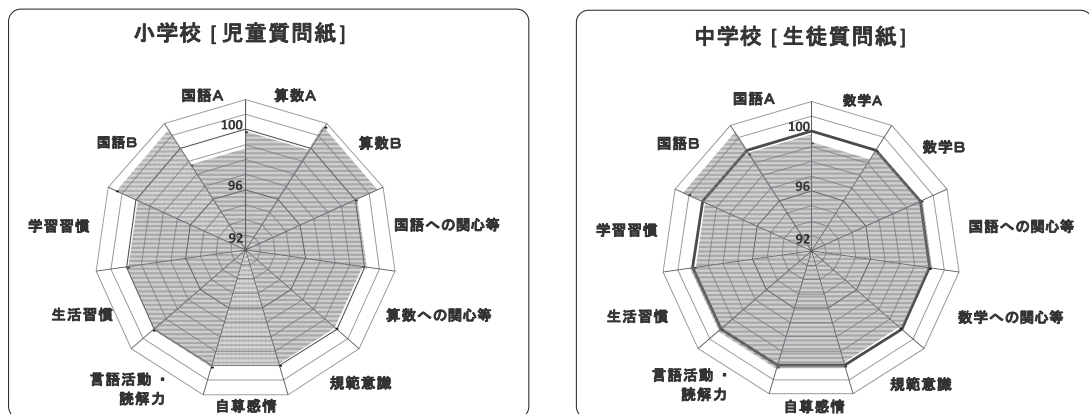
5 質問紙調査に関する調査結果

① 児童生徒質問紙調査

児童生徒に対する質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査である。以下は、全国学力・学習状況調査結果チャート〔児童生徒〕に基づき、今年度調査における特徴や傾向について、領域ごとにその概要をまとめたものである。

なお、詳細については58ページ以降を参照されたい。

○全国学力・学習状況調査結果チャート〔児童生徒〕



学習に対する 関心・意欲・態度	児童	生徒	規範意識 自尊感情	児童	生徒	学習の基盤となる 活動・習慣	児童	生徒
国語への関心等	100.0	100.1	規範意識	100.0	99.9	言語活動・読解力	100.1	100.1
算数・数学への関心等	99.8	100.0	自尊感情	100.0	100.0	生活習慣	100.1	100.0
						学習習慣	99.9	99.9

※このチャートは、千葉県（公立）の調査結果について、全国（公立）を母集団として標準化したものである。全国（公立）を100として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

○今年度調査における特徴や傾向

※以下の「肯定的回答」とは、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。

国語への関心等

肯定的回答の割合が全国を上回る質問事項が多く、全国と比べて国語への関心が高いことがうかがえる。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	児童（肯定的回答）			生徒（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
国語の勉強は好きですか	62.6	57.9	4.7	59.1	57.7	1.4
国語の勉強は大切だと思いますか	90.7	91.0	-0.3	88.4	88.4	0.0
国語の授業の内容はよく分かりますか	80.9	79.9	1.0	71.7	71.9	-0.2
読書は好きですか	72.6	72.1	0.5	75.3	70.1	5.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.1	87.2	-0.1	81.6	81.4	0.2
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	61.2	59.4	1.8	52.3	52.2	0.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	57.8	57.3	0.5	46.9	47.1	-0.2
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	69.0	68.9	0.1	61.6	60.4	1.2
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	71.8	73.3	-1.5	66.3	64.5	1.8

算数・数学への関心等

多くの質問で肯定的回答の割合が全国を下回り、算数・数学への関心がやや低いことがうかがえる。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	児童（肯定的回答）			生徒（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
算数・数学の勉強は好きですか	64.0	66.2	-2.2	56.8	55.5	1.3
算数・数学の勉強は大切だと思いますか	90.8	92.1	-1.3	79.2	80.5	-1.3
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	77.7	80.2	-2.5	70.2	70.5	-0.3
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか／数学ができるようになりたいと思いますか	75.4	77.2	-1.8	90.6	90.8	-0.2
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	75.6	77.4	-1.8	67.1	67.3	-0.2
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	67.5	66.2	1.3	38.8	37.7	1.1
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.7	88.8	-1.1	68.5	69.6	-1.1
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	78.8	79.7	-0.9	68.6	66.9	1.7
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ・根拠を理解するようにしていますか	79.5	80.4	-0.9	70.3	70.0	0.3
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.3	82.5	-1.2	80.7	79.8	0.9

規範意識

全ての質問事項で肯定的回答の割合が90%を超えている。児童生徒の規範意識は、全国と同様に良好であることがうかがえる。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	児童（肯定的回答）			生徒（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
学校のきまり・規則を守っていますか	91.1	90.6	0.5	92.6	92.5	0.1
人の気持ちに分かる人間になりたいと思いますか	92.9	93.0	-0.1	94.3	94.2	0.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.6	95.9	-0.3	92.8	93.5	-0.7
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.6	93.6	0.0	93.0	93.3	-0.3

自尊感情

肯定的回答の割合が高い質問事項が多く、多くの児童生徒が達成感や成就感を味わっていることがうかがえる。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	児童（肯定的回答）			生徒（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.2	94.3	-0.1	93.8	93.7	0.1
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	74.8	75.0	-0.2	68.6	66.8	1.8
自分には、よいところがあると思いますか	74.8	75.7	-0.9	65.9	66.4	-0.5
将来の夢や目標を持っていますか	88.4	87.7	0.7	74.0	73.5	0.5

言語活動・読解力

「グループ活動や話し合い活動をよく行っている」と回答した児童生徒の割合は、全国を上回っている。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	児童（肯定的回答）			生徒（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか	63.2	56.6	6.6	35.9	31.4	4.5
普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	80.3	81.5	-1.2	80.6	78.2	2.4
普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか	80.5	79.3	1.2	66.6	64.7	1.9
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	34.8	34.1	0.7	32.5	31.8	0.7
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	40.5	40.2	0.3	31.9	31.5	0.4

生活習慣

「朝食をとる」「同じ時刻に寝る、起きる」と回答した児童生徒が多く、基本的な生活習慣は、全国と同様に良好な状況である。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	児童（肯定的回答）			生徒（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
朝食を毎日食べていますか	96.1	96.3	-0.2	93.3	93.8	-0.5
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	80.7	78.9	1.8	74.4	74.3	0.1
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.5	90.9	0.6	92.6	92.3	0.3

学習習慣

多くの質問事項で肯定的回答の割合が全国を下回り、家庭での学習習慣が身につけていない児童生徒が多いことがうかがえる。

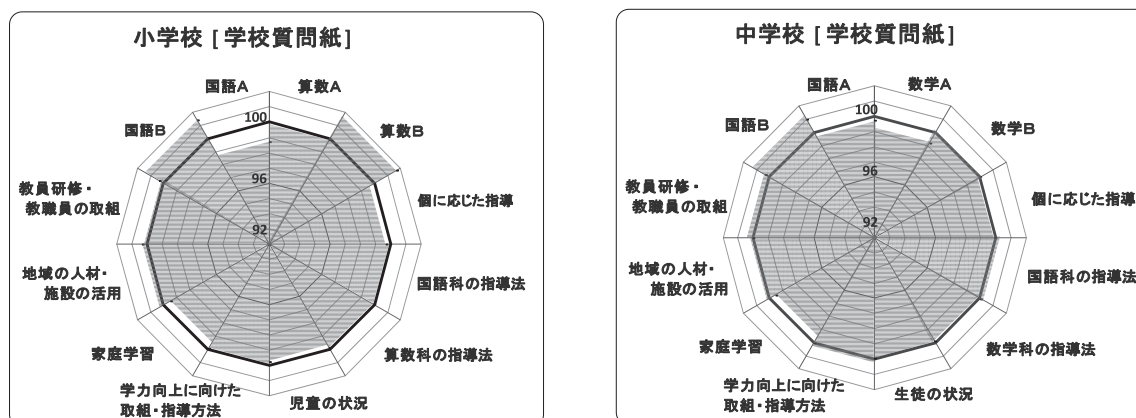
全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	児童（肯定的回答）			生徒（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	57.4	58.9	-1.5	43.3	44.5	-1.2
家で、学校の宿題をしていますか	96.1	96.4	-0.3	82.2	86.8	-4.6
家で、学校の授業の予習をしていますか	41.1	41.3	-0.2	34.6	33.5	1.1
家で、学校の授業の復習をしていますか	47.6	51.4	-3.8	47.3	48.6	-1.3

② 学校質問紙調査

学校に対する質問紙調査は、学校における指導方法に関する取組や、学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査である。以下は、**全国学力・学習状況調査結果チャート〔学校運営〕**に基づき、今年度調査における特徴や傾向について、領域ごとにその概要をまとめたものである。

なお、詳細については72ページ以降を参照されたい。

○全国学力・学習状況調査結果チャート〔学校運営〕



教科指導	小学校	中学校	学力向上	小学校	中学校	学校経営	小学校	中学校
個に応じた指導	99.7	99.9	児童・生徒の状況	99.7	100.0	地域の人材・施設の活用	100.3	100.0
国語科の指導法	99.9	100.0	学力向上に向けた取組・指導方法	99.9	100.0	教員研修・教職員の取組	100.3	100.3
算数・数学科の指導法	99.9	99.9	家庭学習	99.5	99.5			

※このチャートは、千葉県（公立）の調査結果について、全国（公立）を母集団として標準化したものである。全国（公立）を100として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

○今年度調査における特徴や傾向

※以下の「肯定的回答」とは、「よく行った、どちらかといえば行った」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。ただし、回数や頻度を問う質問事項（◆印）については、「行った」と回答したものすべてを「肯定的回答」としている。

個に応じた指導

算数・数学の授業において、少人数指導を行った割合は全国と比べて低く、チームティーチングを行った割合は全国と比べて高い。国語の授業において、チームティーチングを行った割合は全国と比べて低い。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	小学校（肯定的回答）			中学校（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
◆前年度に、算数・数学の授業において、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか	45.5	53.7	-8.2	33.3	40.6	-7.3
◆前年度に、算数・数学の授業において、習熟の早いグループに発展的な内容について少人数指導を行いましたか	40.1	49.4	-9.3	30.0	37.7	-7.7
◆児童が第4学年、生徒が第1学年のときに、算数・数学の授業において習熟の遅いグループに少人数指導で習得できるようにしましたか	43.8	47.0	-3.2	33.4	33.4	0.0
◆児童が第4学年、生徒が第1学年のときに、算数・数学の授業において、習熟の早いグループに発展的な内容の少人数指導を行いましたか	38.6	43.0	-4.4	29.7	31.0	-1.3
◆前年度に、国語の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	11.3	17.7	-6.4	9.9	15.4	-5.5
◆前年度に、算数・数学の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	57.4	58.5	-1.1	57.9	49.6	8.3
◆児童が第4学年、生徒が第1学年のときに、国語の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	11.4	16.6	-5.2	9.3	13.8	-4.5
◆児童が第4学年、生徒が第1学年のときに、算数・数学の授業において、チームティーチングによる指導を行いましたか	57.9	54.7	3.2	60.0	48.0	12.0

国語科の指導法

小中学校ともに、補充的な学習の指導を行った割合は全国を下回っている。発展的な学習の指導より補充的な学習の指導を行った割合のほうが高い。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	小学校（肯定的回答）			中学校（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	62.7	67.8	-5.1	69.5	73.4	-3.9
国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	36.8	37.6	-0.8	56.7	53.7	3.0
国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	87.7	87.9	-0.2	81.0	80.0	1.0
国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	88.5	89.9	-1.4	91.3	92.2	-0.9
国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	85.7	83.7	2.0	85.9	84.2	1.7
国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	97.1	97.7	-0.6	98.0	97.8	0.2

算数・数学科の指導法

多くの質問事項で肯定的回答の割合が全国を下回っている。小中学校ともに、補充的・発展的な学習の指導を行った割合は全国と比べてやや低い。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	小学校（肯定的回答）			中学校（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
算数・数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	84.8	87.3	-2.5	82.3	86.0	-3.7
算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	50.1	54.4	-4.3	55.4	58.3	-2.9
算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	59.4	63.0	-3.6	55.6	57.2	-1.6
算数・数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	98.3	97.1	1.2	95.4	95.6	-0.2

児童・生徒の状況

「勉強への熱意」「授業中の落ち着き」「相手の考えを最後まで聞くこと」についての肯定的回答の割合は高いものの、多くの質問事項で肯定的回答の割合が全国を下回っている。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	小学校（肯定的回答）			中学校（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
児童、生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	90.2	92.4	-2.2	86.6	88.5	-1.9
児童、生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	88.9	90.4	-1.5	93.3	92.7	0.6
児童、生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	64.3	67.8	-3.5	64.6	63.6	1.0
児童、生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	80.1	83.0	-2.9	80.0	82.6	-2.6

学力向上に向けた取組・指導方法

多くの質問事項において肯定的回答の割合が高く全国を上回っている。小学校において、補充的な学習サポートを実施した割合は全国と比べて著しく低い。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	小学校（肯定的回答）			中学校（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
◆前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	95.6	98.2	-2.6	95.2	92.7	2.5
◆前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	95.2	96.2	-1.0	89.0	84.0	5.0
◆前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	44.2	61.7	-17.5	86.9	86.0	0.9
◆前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	1.6	3.6	-2.0	4.3	8.9	-4.6
◆前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか(実施した日数の累計)	41.0	65.0	-24.0	83.8	84.1	-0.3
前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童・生徒に示す活動を計画的に取り入れましたか	98.0	96.5	1.5	96.7	92.6	4.1
前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	93.8	92.0	1.8	89.0	88.1	0.9
前年度までに、児童・生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	95.0	95.0	0.0	93.8	91.8	2.0
前年度までに、児童・生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	98.3	97.3	1.0	93.8	93.3	0.5
前年度までに、児童・生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	73.1	71.5	1.6	92.8	94.5	-1.7
前年度までに、学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底しましたか	96.3	97.1	-0.8	97.9	97.7	0.2
前年度までに、学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導をしましたか	97.7	97.7	0.0	97.4	97.5	-0.1
前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	92.5	91.3	1.2	80.0	81.1	-1.1
前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	96.5	95.3	1.2	88.2	87.6	0.6
前年度までに、本やインターネットなどの資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	94.4	91.3	3.1	76.4	76.3	0.1
前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	89.6	86.2	3.4	75.6	76.8	-1.2
前年度までに、児童・生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	90.8	90.9	-0.1	82.8	85.7	-2.9
前年度までに、総合的な学習の時間で、課題の設定から始まる探究の過程を意識した指導をしましたか	78.0	80.9	-2.9	78.0	80.5	-2.5

家庭学習

多くの質問事項で肯定的回答の割合が全国を下回っている。小中学校ともに、「家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図った」割合は、全国と比べて著しく低い。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	小学校（肯定的回答）			中学校（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	98.7	99.4	-0.7	79.2	89.6	-10.4
国語の指導として、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	94.0	95.6	-1.6	68.5	72.0	-3.5
国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか	76.8	87.7	-10.9	67.7	78.1	-10.4
国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導しましたか	98.3	96.8	1.5	96.1	95.9	0.2
算数・数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	99.4	99.6	-0.2	84.8	92.7	-7.9
算数・数学の指導として、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	93.5	95.6	-2.1	73.6	72.7	0.9
算数・数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか	76.7	87.7	-11.0	69.5	78.4	-8.9
算数・数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導しましたか	98.6	97.0	1.6	94.2	95.2	-1.0
前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出しましたか（国・算・数共通）	68.6	75.1	-6.5	53.0	59.3	-6.3
前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか（国・算・数共通）	84.7	90.9	-6.2	80.8	87.1	-6.3

地域の人材・施設の活用

小中学校ともに、地域人材を活用した授業を行った割合が低い。小学校において、職場体験や職場見学を行っている割合は全国を大きく上回っている。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	小学校（肯定的回答）			中学校（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	74.9	79.3	-4.4	45.9	57.6	-11.7
前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	45.6	42.4	3.2	19.5	22.8	-3.3
前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	45.9	37.5	8.4	11.3	14.6	-3.3
職場見学や職場体験活動を行っていますか	76.1	41.9	34.2	98.7	98.4	0.3
P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか	98.6	97.1	1.5	97.2	94.7	2.5
学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者等が様々な活動に参加してくれますか	85.6	80.9	4.7	77.9	65.6	12.3
保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	96.4	94.9	1.5	90.7	87.3	3.4

教員研修・教職員の取組

多くの質問事項において、肯定的回答の割合が高く全国と同程度か上回る状況である。教職員の研修や取組の状況は、概ね良好であることがうかがえる。

全国学力・学習状況調査結果チャートに該当する質問事項	小学校（肯定的回答）			中学校（肯定的回答）		
	千葉(%)	全国(%)	差	千葉(%)	全国(%)	差
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	99.5	92.7	6.8	91.8	84.4	7.4
模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	94.8	94.8	0.0	85.2	86.4	-1.2
教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	96.6	96.4	0.2	91.6	92.2	-0.6
◆授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	99.6	99.5	0.1	99.8	99.4	0.4
教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	96.3	94.8	1.5	90.8	89.4	1.4
学習指導と学習評価の計画の作成にあたっては、教職員同士が協力し合っていますか	95.0	95.0	0.0	95.9	92.6	3.3
知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	84.3	82.3	2.0	85.6	82.2	3.4
言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	87.8	87.1	0.7	85.9	82.9	3.0
学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか	99.0	99.0	0.0	98.2	98.0	0.2
学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	97.7	97.9	-0.2	98.0	97.1	0.9
教科内にとどまらず学校として組織的に、指導力向上のための研修や取組を行っていますか(中学校のみ)				91.3	92.0	-0.7
◆校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	94.6	90.3	4.3	83.6	77.2	6.4